

■ISO関連

ISO/TC61/SC4(燃焼挙動)国内委員会

(事務局:日本プラスチック工業連盟)

- 日時:平成24年2月22日(水)
- 場所:日本プラスチック工業連盟 会議室
- 議事:ISO9773:1998(プラスチック-小火炎に接触する可とう性フィルムの垂直燃焼性試験方法)の見直しに際し、材料の精度データ表を一新する為、ラウンドロビン試験を行った。参加機関はスガ試験機含め日本4ヶ所、タイ1ヶ所、イギリス2ヶ所、フランス1ヶ所、アメリカ1ヶ所の5ヶ国9試験機関。また、ISO 4589(プラスチック-酸素指数による燃焼性の試験方法) part1~3の見直し中。

ISO/TC107規格検討専門委員会

(平成24年度第1回) (事務局:(一社)表面技術協会)

- 日時:平成24年4月17日(火)
- 場所:スガ試験機(株)本社
- 議事:各SCより、ベルリン会議(2/27から3/2に開催)の報告があった。SC7須賀委員長(当社社長)よりCorrosion testsについて報告があった。

ISO/TC61/SC5/WG5A(プラスチック光学特性)委員会

(事務局:日本プラスチック工業連盟)

- 日時:平成24年5月8日(火)
- 場所:プラスチック工業連盟 会議室
- 議事:日本からISOに提案しているJIS K 7373「プラスチック-黄色度及び黄変度の求め方」とJIS K 7374「プラスチック-像鮮明度の求め方」について対応の確認と、JIS K 7142「プラスチック-屈折率の求め方」の改正について協議した。

ISO/TC156対策委員会(第121回)

(事務局:(一社)ステンレス協会)

- 日時:平成24年5月8日(火)
- 場所:ステンレス協会
- 議事:6月のパリ会議に向け、各WGの状況報告及び対策が審議された。
JWG7須賀主査(当社社長)よりDIS 16539(日本提案:絶対湿度一定下での乾湿サイクル試験)について報告があった。

ISO/TC45(ゴム/ゴム製品)委員会

(事務局:日本ゴム工業会)

- 日時:平成24年5月9日(水)
- 場所:日本ゴム工業会 会議室
- 議事:ISO投票と定期見直し、JIS制定についての審議があった。ISO 37、ISO 188のITP(Interlaboratory test program)実施中。

■JIS関連

JIS Z 9096 床面に設置する蓄光式の安全標識及び誘導ライン 原案作成委員会

(事務局:(公社)日本保安用品協会)

- 日時:平成23年12月19日(月)
平成24年1月17日(火)、2月9日(木)
- 場所:医科器械会館(東京医療機器協会)
- 議事:避難誘導を主な目的とした床面に設置される蓄光式の安全標識及び誘導ラインの基準を規格化した。りん光材料の昼間の色・耐候性・耐燃性・耐湿性・耐摩耗性などを規定している。

JIS S 3107 自動車窓ガラス用フィルム改正原案作成委員会

(事務局:(公社)日本保安用品協会)

- 日時:平成24年4月18日(水)
- 場所:(公社)日本保安用品協会
- 議事:規格制定から14年経ち、関連規格のJISA 5759「建築窓ガラス用フィルム」も改正され、当規格も現状と合うように見直しをする。また種類、品質の明確化を図る。

第2回アルミニウム陽極酸化皮膜の試験方法JIS改正委員会

(事務局:(一社)軽金属製品協会)

- 日時:平成24年4月20日(金)
- 場所:アープセンタービル会議室
- 議事:ISOの試験方法規格17規格改正に伴い、13規格を改正、うち耐摩耗性試験方法は3つの規格を1つに制定する。主な改正規格
JIS H 8682-1、JIS H 8682-2、JIS H 8682-3、
JIS H 8685-1、JIS H 8686-2

■その他

色彩基準の確立検討会

- 日時:平成24年3月26日(月)
- 場所:スガ試験機(株)本社
- 議事:1990年より、カラーメーターのメーカーが主体となり色彩測定基準に関する種々の問題の調査・研究を行ってきた検討会で、今回新たに本校討会の会長に須賀茂雄(当社社長)が就任した。また産業技術総合研究所・光放射標準研究室の主任研究員の部洋司氏より、分光拡散反射率標準の国際比較(CCPR-K5)の結果報告が行われた。